

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化的な理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 徳力小学校】

1 実践テーマ	I · II · III · IV · V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	北九州市立徳力小学校 第4学年 2学級 73名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○ 総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック種目であるトランポリン競技について学び、体験を通して器械体操のよさを理解したり、器械体操の楽しさを味わったりする。 ・ トランポリン競技者の方の話を聞いたり、トランポリン体験をしたりして、進んで様々なスポーツに挑戦しようとする心情を養う。
5 取組内容	<p>(1) 2020年TOKYOオリンピックの開催を知り、過去のオリンピックについて調べる。【事前学習】 <input type="radio"/> オリンピックの目的や過去の開催地を調べる。</p> <p>(2) オリンピックの競技種目を調べ、オリンピックについての興味・関心を高める。【事前学習】 <input type="radio"/> オリンピックの種目を調べる。</p> <p>(3) トランポリンの体験をする。【体験学習】 <input type="radio"/> 3名の講師の模範演技を見る。 <input type="radio"/> 基本的なトランポリンの技を体験する。</p> 



(4) 感想を書く。【事後学習】

トランポリンでとぶと、いつもジャンプするよりも高くとべるので楽しかったです。前に体験したことがあるので、ひさしぶりにやってすごくワクワクしました。トランポリンの先生が見せてくれたわざがかっこよくて、ぼくもやってみたいと思いました。

わたしはトランポリンを体験して、最初はむずかしかったけれど、教えてくださった先生のわざを見て、自分もちようせんしてみました。先生の話を聞くと、少し前を向いてとぶのが良いと分かったので、やってみたら上手にとべて楽しかったです。

ぼくはとんでみて、はじめは怖かったけれど、だんだんとなれて、とぶことが出来るようになりました。ぼくは、高い所が苦手だけれど、トランポリンだと全然こわくなくなりました。初めてだったけれど、とても楽しくて良い体験になりました。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然に飛びはねができるトランポリンを体験することで、みんな笑顔になっていた。 ○ トランポリンの基本的な技に、段階的に挑戦していくことで達成感を感じたり、運動の楽しさを改めて感じたりする児童が多くかった。 ○ 競技スポーツとしてのトランポリンを体験することで、通常の学校教育ではできないことを体験させることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ トランポリン協会の方の協力を得て、4台の本格的なトランポリンを使って、実際に体験させることができた。そのため、一人一人の児童の体験時間が多く、様々な技を体験することができた。 ○ 1台のトランポリンにつき、1人のインストラクターがついたため、初めてトランポリンを体験する児童も不安なく活動することができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ トランポリンの輸送費がかかるため、半日だけの開催となり、1学年だけしか体験できない。他の学年にも経験させたかった。輸送面等で、工夫できないかと思う。 ○ 事後学習で、オリンピックなどの映像を見せることができれば、更に児童の興味・関心を高めることができると思われる。来年度は、映像を準備したい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来年度も本年度と同様、トランポリン体験を通して、児童がオリンピックスポーツに実際に触れることができる機会にしたい。